価値創造

2030年Visionに向けた考え方とマテリアリティ

ノーリツグループでは、多様化するステークホルダーからの要請や期待を踏まえ、マテリアリティを定めています。
2024年にはアウトカムを具体化し、2030年Vision実現に向けて当社が取り組むべき課題を検討、
外部環境変化が当社グループに与える影響と内部環境を整理し、財務インパクトにつながる6つのマテリアリティを特定しました。

2030年Vision

「なくてはならない」を、届けつづけるために。

「なくてはならない」を、新しくつくるために。

世界の人々や社会に提供する価値

豊かな暮しと地球への貢献を両立できる社会

- **サステナビリティ**：人と地球の適切な関係
- **ウェルビーイング**：お湯と食のプラスの価値
- **ケア**：多様性と人への寄り添い

中期経営計画「Vプラン26」

3つの重点戦略

- 事業ポートフォリオの変革 ▶詳しくはP.20へ
- 戦略投資の拡大と資本政策 ▶詳しくはP.21へ
- サステナビリティ経営の推進 ▶詳しくはP.23へ

■ マテリアリティの取り組みと指標

重点課題		機会	主な取り組み	指標	2030年ありたい姿	Vプラン26　2026年目標	2024年末実績
事業継続における重点課題	1 つながりを起点とした顧客価値最大化	●サービス対応で安心・安全による顧客基盤を固め、保守・メンテナンス主体の新たなビジネスモデル・収益基盤を創出	●お客さまとの「つながり」強化	●製品・サービスを通じたつながり数(累計)	●つながり数900万件	●600万件	●475万件
	2 カーボンニュートラル／社会課題対応 2-1 国内	●製品・サービス提供を通じた新たな社会価値(カーボンニュートラル・お湯の価値・食の価値)の創出	●温水・環境配慮型商品(高効率給湯器)と厨房・社会課題解決型商品のスタンダード化	●環境配慮型商品の販売構成比	●環境配慮型商品90%	●50%	●43.1%
				●社会課題解決型商品の販売構成比	●社会課題解決型商品40%	●37%	●32.1%
				●製品のCO_2排出量(2018年比)	●製品CO_2 2018年比▲30%	●▲20%	●▲30.3%
	2-2 国内(非住宅)		●設備更新による施設のカーボンニュートラル貢献 ●熱ソリューションビジネスの確立	●事業拡大によるCO_2削減貢献量	●40万t-CO_2	●33万t-CO_2	●27.9万t-CO_2
	2-3 海外		●既存国：環境配慮型商品の市場拡大 ●新規国：所有技術・商材の展開	●事業拡大によるCO_2削減貢献量	●750万t-CO_2	●400万t-CO_2※	●339.2万t-CO_2
資本強化における重点課題	3 カーボンニュートラル・資源循環促進による自然資本開発	●自社・社会の環境負荷を減らすことで、持続可能なビジネスモデルを確立	●事業活動によるCO_2排出量の削減 ●リサイクルビジネスの促進	●RE100達成	●事業CO_2 2018年比▲50%	●明石本社工場達成	—
				●製品リサイクル回収台数	●製品リサイクル回収30万台	●15万台	●6.6万台
	4 事業拡大に向けた知的資本開発	●技術力による競争優位性の確保 ●競合他社との差別化	●社会課題解決型技術の創造と世界展開 ●経営品質向上によるコーポレートブランド強化	●カーボンニュートラル・ウェルネス等の新技術獲得数	●パテントor新ビジネスモデル5件	●5件	●0件
				●ブランド戦略サーベイ総合スコア	●ブランド戦略サーベイ総合スコア600	●585	●580
	5 事業を支える人的資本開発	●多様な人材の能力発揮を促し、組織全体としての力を最大化 ●個々の強みを活かしたイノベーションの促進	●従業員ウェルビーイングの実現 ●ダイバーシティ&インクルージョン	●エンゲージメントサーベイ総合スコア	●エンゲージメントサーベイ総合スコア73	●70	●70
	6 DX等による製造資本開発	●DXによる製造効率の改善	●ものづくり変革(DX活用・ロボット導入・モジュール設計等)	●本社工場の自働化率	●スマートファクトリーの実現	●ガス給湯器ライン自働化率70%	—

※海外事業の業績修正に伴い、600万t-CO_2から400万t-CO_2に修正しました